

松江市 報道機関配布資料

令和8年8月13日

件名

松江市内における腸管出血性大腸菌(O157)感染症患者の発生について

内容

8月12日、松江市内の病院から松江保健所に腸管出血性大腸菌(O157)感染症患者発生の届出がありました。現在、松江保健所が感染経路等の調査を実施しています。

※詳細は別添資料のとおりです。

【問い合わせ】

健康福祉部 保健衛生課

担当：加藤、三代

電話：0852-61-2001

腸管出血性大腸菌（O157）感染症患者の発生について

1 概要

8月12日、松江市内の病院から松江保健所に腸管出血性大腸菌（O157）感染症患者発生の届出がありました。現在、松江保健所が感染経路等の調査を実施しています。

2 患者

松江市内在住の50歳代男性

症状：腹痛、水様性下痢、血便、発熱、嘔気、嘔吐、倦怠感

経過：8月8日 腹痛、水様性下痢、倦怠感

8月9日 嘔気、嘔吐、血便 市内病院を受診

8月10日 同病院を再受診、入院

8月11日 発熱

8月12日 検査結果が判明し、同病院から松江保健所へ

腸管出血性大腸菌（O157）感染症患者発生の届出

現在、患者は入院中ですが、回復傾向です。

3 対応状況

- ・患者の行動調査等
- ・接触者の健康調査、検便
- ・手洗い等、二次感染予防の指導
- ・家庭のトイレ等の消毒指導

【市民の皆様へ】

腸管出血性大腸菌感染症の発生予防のため、各家庭及び食品調理施設においては、次の事項に注意してください。

- ① 手洗いの励行：感染を防ぐためには手洗いが最も大切です。用便後、調理前には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。
- ② バーベキューや焼き肉をするときは、生肉用の箸と取り箸を使い分け、中心部までしっかりと加熱して食べましょう。
- ③ 腸管出血性大腸菌に感染した場合、重症化させないことが大切です。腹痛、下痢、血便等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

【松江市内の医療機関から届出のあった腸管出血性大腸菌感染症患者等の状況】

発生年	計	患者			無症状病原体保有者		
		O157	O26	その他	O157	O26	その他
2022年	2	2	0	0	0	0	0
2023年	1	0	0	0	0	0	1
2024年	3	0	0	0	2	1	0
2025年	21	17	0	0	3	0	1
2026年	5	2*	0	2	0	0	1

*本件の1名を含む

プライバシーを尊重した対応をお願いします